

## 1 報告事項

今年度の市の健康づくり施策について報告した後、平成26年度のがん検診の1次・2次検診の受診率と国保特定健診の受診率と特定保健指導の状況について、健康づくり課と国保年金課から報告した。

特定健診結果において、糖尿病予備群が多い理由については判明していない。地域性も考えられるが、今後、大学の専門家と一緒に検討していく。糖尿病予備群が減った理由としては、特定保健指導の効果や、食事をはじめとする生活習慣を分析し、保健委員活動を通じて、広く地区で予防の啓発をしていることが成果につながっていると考えられる。

## 2 協議事項

第2次島田市健康増進計画の平成30年度のめざそう値の達成に向けての、各団体の今年度の取組みについて意見交換を行った。

### ・宮下医療健康部長（木村委員代理）

毎日の歩数を1,000歩増やすため、「+10（プラステン）」のチラシを用いて啓発をしている。また、タバコの受動喫煙防止のため、小学4年生へ寸劇で講演する。今年度は神座小と伊太小で行う予定。

### ・栗田委員

6年生で禁煙についての講座を行う。また、年1回5～6年生とその保護者を対象として行う学校保健委員会にて、禁煙の話をする。

### ・成岡委員

5年程前までは、車内で母がタバコを吸い、同乗の子どもがタバコの害を受けてしまうという様子をよく見かけていたが、現在はかなり減ったように思える。

### ・小塩委員

歯磨きの重要性を伝えるため、歯科健康講座を行う。また、園と家庭をつなぐ取組みとして、朝食をしっかりと食べるように指導している。園庭では野菜作りをしている。

### ・望月委員

FMで食育の啓発を行う。若い母の料理離れを心配している。

### ・大石委員

若い母の料理離れは、若い人に伝えてこなかったという現状や、仕事をしながら子育てをする時代という現状が大きく関わっている。団体が盾となり、守っていけるような取組みをしていきたい。

### ・寺田委員

現在は、運動に興味のある人は参加が多いため、目的別や病態別の運動教室に取り組みたい。やっていない人をどうするかが、課題と思う。また、親への講座を行いたい。

### ・八木委員

歯のフェスティバルにより多くの年代が来てもらうために、健幸マイレージと協力していきたい。

- ・松永委員

今年度の禁煙街頭広報は、島田駅のみで行ったが、各薬局で行いより多くの方に知ってもらいたい。また、薬学講座には父兄も巻き込みたいと考えている。

- ・鈴木副会長

各団体が、それぞれとても活発に活動されているし、予定されている。また、一つの団体の活動にとどまらず、各団体が連携をとり協力して活動されていることが、とても素晴らしいと感じた。効果的な会議になっていると感じる。